

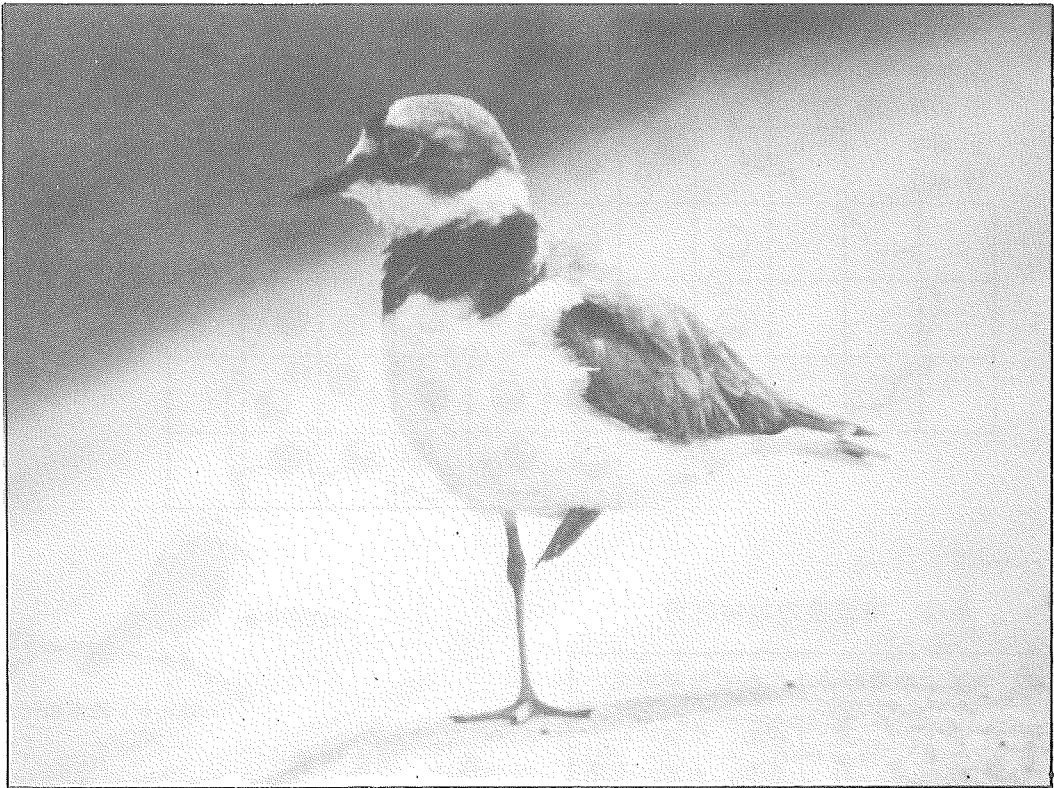


1986・6

第 25 号

しろこぼと

日本野鳥の会 埼玉県支部



コチドリ（チドリ科） コチドリの子供は可愛い。生まれた時からフワフワだからだ。「昨年4羽生まれた子供たちはもう帰って来ただろうか」「年子、年子で、何羽兄弟だろう」などと想ってみる。アカショウビンやサンヨウチョウが鳴くところに、いつの間にか河原でふらふら歩いている。シロチドリほどのでこぼちでなく、イカルチドリほどの長つらでもなく、ヒタキの仲間のようなクリッとした眼が好きだ。吉田町が「ふるさと」のコチドリ母さん、里帰りの物語りは、又いつか。

（写真・丸山政弘、文・豊田隆）

埼玉の鳥相

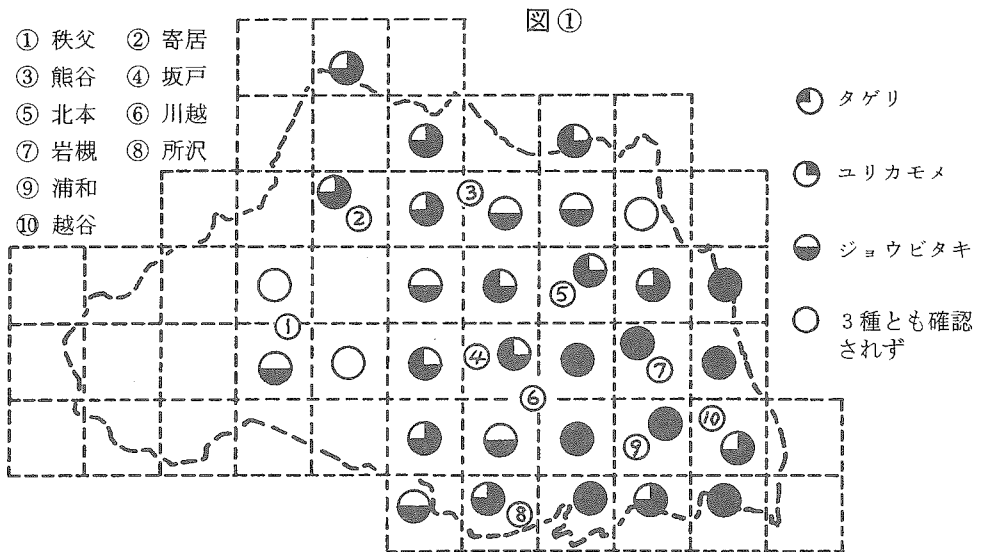
— 1986年冬鳥分布調査報告 —

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

1986年冬の県内野鳥分布調査は会員諸氏の御協力により表①の様に実施されました。日最高気温が4度と言う通常2月初旬の値が12月中旬浦和で観測されたこの冬は、県南の住宅地の間に散在する雑木林でキクイタダキやアオゲラがそれ程めずらしくなく見られ、越谷市でコハクチョウが越冬し、トモエガモも埼玉で200羽近く越冬するなど、厳冬によるためか冬鳥も例年に無い様変わりを呈しました。

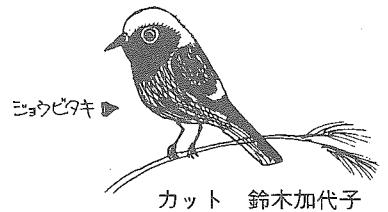
本調査によりこの冬の地域別(表②)の種別生息状況(表③)、注目種のユリカモメ、タゲリ、ジョウビタキの分布(図①)が得られました。今後ともよろしくお願い致します。

タゲリ、ユリカモメ、ジョウビタキ分布図(1986冬)



表② 埼玉県の地域区分

地域	地形区分	おもな都市名
県南東	平野	越谷、草加
県南中	平野	浦和、大宮、上尾
県南西	平野	所沢、川越
県央・東	平野	鴻巣、久喜、加須、栗橋
県北	平野	熊谷、深谷、本庄
県西南	丘陵	飯能、越生
県西北	丘陵	寄居、皆野
秩父	山地	秩父山地



表① 調査概要

調査期間	1985. 12. 1 ~ 1986. 1. 31	
調査人員	81名	
調査内訳	調査はがき	54枚
	調査票	223枚
調査メッシュ	182メッシュ	

表③ 県内の地域別種別生息状況

種名	地域						
	南	南	南	央	西	西	秩
	東	中	西	東	北	南	北
カイツブリ	○	○	○	○	○	○	○
ハジロカイツブリ	○						
カンムリカイツブリ		○					
カワウ	○	○					
ゴイサギ		○	○	○	○		○
ダイサギ	○	○		○	○	○	
コサギ	○	○	○	○	○	○	○
アオサギ	○	○		○	○		
コブハクチョウ				○			
コハクチョウ	○				○		○
オンドリ					○		○
マガモ	○	○	○	○	○	○	○
カルガモ	○	○	○	○	○	○	○
コガモ	○	○	○	○	○		○
トモエガモ	○		○	○	○		
ヨシガモ	○		○	○	○		
オカヨシガモ	○	○			○		
ヒドリガモ	○	○	○	○	○		
オナガガモ	○	○	○	○	○		○
ハシビロガモ	○	○	○	○	○		
ホシハジロ		○	○	○	○		
オオホシハジロ	○				○		
キンクロハジロ	○	○	○				
スズガモ	○				○		
ホオジロガモ	○	○			○		
ミコアイサ	○				○		
カワアイサ						○	
トビ					○	○	○
オオタカ		○	○		○	○	○
ツミ							○
ハイタカ			○	○			○
ケアシノスリ				○			○
ノスリ	○	○	○	○	○		○
ハヤブサ						○	
コチョウゲンボウ						○	
チョウゲンボウ	○	○	○	○	○		○
ウズラ	○	○					
コジュケイ	○	○	○	○	○	○	○
ヤマドリ							○
キジ	○	○	○	○	○	○	○
クイナ	○			○			
バン	○			○			

種名	地域						
	南	南	南	央	西	西	秩
	東	中	西	東	北	南	北
タマシギ							○
コチドリ		○	○	○			○
イカルチドリ	○	○		○	○	○	○
シロチドリ		○			○		
ムナグロ		○					
ケリ		○			○		
タゲリ	○	○	○	○	○	○	○
ハマシギ	○	○					
クサシギ		○				○	○
タカブシギ		○					
イソシギ					○	○	○
タンギ	○	○	○	○	○	○	○
ユリカモメ	○	○	○	○	○	○	○
セグロカモメ	○	○			○		
ウミネコ		○					
シラコバト	○	○			○		
キジバト	○	○	○	○	○	○	○
アオバト							○
トラフズク		○					
コミミズク	○	○	○	○	○	○	
ヤマセミ						○	○
カワセミ		○	○	○	○	○	○
ヤツガシラ		○					
アリスイ		○					
アオゲラ		○	○	○	○	○	○
アカゲラ		○	○	○	○	○	○
コゲラ		○	○	○	○	○	○
ヒバリ	○	○	○	○	○	○	○
イワミセキレイ						○	
キセキレイ	○	○	○	○	○	○	○
ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○	○
セグロセキレイ		○	○	○	○	○	○
ピンズイ		○	○		○		○
タヒバリ	○	○	○	○	○	○	○
ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○	○
モズ	○	○	○	○	○	○	○
オオモズ						○	
ミソサザイ						○	○
カヤクグリ							○
ルリビタキ	○	○		○	○	○	○
ジョウビタキ	○	○	○	○	○	○	○
イソヒヨドリ		○					

マイフィールドに異常

為 貞 貞 人 (浦和市)

種名	地域							
	南	南	南	央	西	西	北	父
トラツグミ				○			○	
アカハラ	○			○			○	
シロハラ	○	○	○	○	○	○	○	○
ツグミ	○	○	○	○	○	○	○	○
ウグイス	○	○	○	○	○	○	○	○
キクイタダキ	○	○	○	○	○	○		
セッカ	○			○				
エナガ			○		○	○	○	○
コガラ			○		○		○	
ヒガラ	○	○	○	○			○	○
ヤマガラ	○	○					○	○
シジュウカラ	○	○	○	○	○	○	○	○
ゴジュウカラ	○	○			○		○	
メジロ	○	○	○	○	○	○	○	○
ホオジロ	○	○	○	○	○	○	○	○
ホオアカ	○							
カンラダカ	○	○	○	○	○	○	○	○
ミヤマホオジロ		○	○					
アオジ	○	○	○	○	○	○	○	
クロジ	○	○					○	
オオジュリン		○		○	○			
アトリ		○					○	○
カワラヒワ	○	○	○	○	○	○	○	○
マヒワ		○			○			○
ハギマシコ								○
イスカ					○			
ベニマシコ								○
ウソ	○					○	○	○
コイカル				○				
イカル	○	○			○		○	
シメ	○	○	○	○	○	○	○	○
スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○
ムクドリ	○	○	○	○	○	○	○	○
カケス		○	○	○	○	○	○	○
オナガ	○	○	○	○	○	○	○	○
ハンボソガラス	○	○	○	○	○	○	○	○
ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○
ドバト	○	○	○	○	○		○	
セキセイインコ					○			
ギンバラ	○							

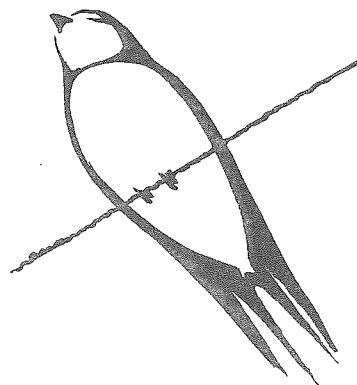
(執筆・小荷田行男、石井 智、森本國夫)

見沼通船堀の春が桜のほころびで、一挙に深まるのはいつもと変わらないが、この付近の見沼田んぼにちょっとした異常が起きた。新聞も報じたが、東浦和駅前の見沼田んぼの一角で県の事前審査抜き盛りの土工事が始まり、アソ原は焼き払われた。すみかを追われたオオジュリンが周りのまばらなアソ原を頼りに姿も露わに飛び回っているのがなんともあわれだ。

通船堀(西縁)、芝川、武蔵野線に囲まれたこの見沼田んぼの最南端は不思議と鳥に好かれる。私の五年間の観察で六十種をこえ、春の渡りのムナグロのかくれた集団飛来地であり、チュウシャクンギもきたことがある。この区域の約半分が運動公園造成のためまたたくまに黒い土砂でつぶされた。今年の冬は珍らしくタゲリが数羽現われたが、焼け跡の餌にさそわれたらしい。見納めのように。毎年四月末から五月連休にかけて、休息するムナグロは今年はくるかどうか。早苗の中を用心深く歩くヒクイナを目の前に雨にうたれて立ち尽すことはもうできない。

通船堀からカワセミが消えて(私の視界からだけと信じたい)三年たつが、私はこない“恋人”を待ちつづけている。ヒクイナやムナグロにそういう思いはしたくない。

それでも通船堀の樹々が芽ぶき、アオジが間近にきて声をかけ、シラコバトが黒い瞳を注げば、私の心はなごみ、しきりと夏鳥に思いをはせるのである。

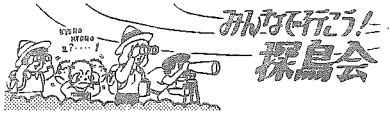


4月6日 幸手町南、
御成街道
(午前11時、晴)

秋間利夫
(幸手町)

野鳥情報

- ツバメ ◇ 3月25日、浦和市大谷口の遊水池で1羽(近藤 崇)。◇ 3月29日、春日部市増田新田で2羽(石川久美子)。◇ 4月1日、与野市本町で2羽(藤野克裕)。◇ 4月3日、寄居町の宗像神社付近で1羽(岡林克信)。
- ツルシギ ◇ 3月21日、浦和市の秋ヶ瀬で冬羽5羽(横山みどり)。◇ 4月19日、大宮市の深作遊水池で夏羽2羽(中島康夫)。
- ヤマシギ ◇ 3月27日、浦和市の南浦和陸橋付近で1羽(近藤 崇)。◇ 4月6日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森で1羽(探鳥会解散後)。
- ノスリ ◇ 3月29日、浦和市太田窪の自宅上空で1羽(近藤 崇)。◇ 4月5日、日高町高萩で1羽(国益 勝、金子康裕)。
- ゴジュウカラ ◇ 3月30日、北本市の農事試験場跡地で1羽(長島英治)。
- アマツバメ ◇ 3月30日、本庄市の阪東大橋で14羽(萩原正二)。◇ 4月13日、上福岡市の緑地公園で1羽(石井清澄)。
- イカル ◇ 3月30日、狭山市の昭代橋で20羽(藤原寛治)。◇ 3月31日、熊谷市の高代神社で1羽(今井明巨)。◇ 4月8日、与野市下落合でさえずる(石井 智)。◇ 4月12日、大宮市日進町でさえずる(森本國夫)。
- アオジのさえずり、◇ 3月30日午前9時、狭山市の昭代橋付近で(福井 亘)。
- ツグミのぐぜり ◇ 3月31日午前9時、浦和市岸町の起志乃天神の境内で小声だが、大変複雑で美しい声で鳴く(海老原美夫)。
- イワツバメ ◇ 4月1日、浦和市三室の芝川でツバメの群れ中に4羽(山部直喜)。◇ 4月13日、上福岡市の緑地公園で2羽(石井清澄)。
- ベニマシコ ◇ 4月2日～8日、小川町角山の自宅裏で♀3羽(加治道子)。
- ユリカモメ(夏羽) ◇ 4月5日、浦和市秋ヶ瀬の排水機場で1羽(福井 亘)。◇ 4月12日、川口市差間で1羽(香川裕行)。
- ムナグロ ◇ 4月5日、浦和市秋ヶ瀬の大久保農耕地で8羽(福井 亘)。◇ 4月13日同地で38羽(石井 智)。
- タゲリ ◇ 4月5日、浦和市秋ヶ瀬の大久保農耕地で1羽(海老原美夫)。
- ヤマドリ ◇ 4月5日、名栗村で♂3羽(水村 実)。
- ルリビタキ ◇ 4月6日、浦和市氷川女体神社で♀1羽(草間和子)。
- ニューナイスズメ ◇ 4月6日午前7時、熊谷市の報恩寺で1羽(鈴木忠雄)。
- 部分白化のハシブトガラス ◇ 4月9日、寄居町の円良田湖で初列風切の左右1枚づつが白く、又胸に一部分白い羽毛の混った個体が1羽いた(水村 実)。
- コムクドリ ◇ 4月13日、川口市差間で♂1羽♀2羽(香川裕之)。◇ 4月24日、毛呂山町川角で♂1羽(水村 実)。◇ 4月29日、桶川市川田谷の荒川河川敷で♂2羽♀1羽(長野博行)。
- シマアジ ◇ 4月14日、桶川市川田谷の休耕田にコガモの群れの中に♂♀各1羽(田中昭三郎他1名)。
- サシバ ◇ 4月18日、日高町で4羽(水村 実)。◇ 4月24日午後12時半、浦和市の県庁上空で1羽(海老原美夫)。
- シロチドリ ◇ 4月19日、大宮市の深作調整池で4羽(中島康夫)。
- オオジシギ ◇ 4月20日、大宮市の深作調整池でディスプレイをする(中島康夫)。
- センダイムシクイ ◇ 4月23日、大宮市日進町でさえずる(森本國夫)。◇ 4月24日、熊谷市の報恩寺で1羽(鈴木忠雄)。
- アオバズク ◇ 4月24日午後8時、熊谷市の念仏堂で1羽(鈴木忠雄)。
- カッコウ ◇ 4月25日、大宮市天沼町の大宮高校で2羽(近藤 崇)。
- コミミズク ◇ 4月25日、浦和市秋ヶ瀬で1羽(福井 亘)。
- オオヨシキリ ◇ 4月25日、浦和市秋ヶ瀬で大きな声で鳴く(福井 亘)。
- オオルリ ◇ 4月27日、熊谷市の報恩寺で1羽(鈴木忠雄)。



野鳥や自然の好きな方、どなたでも歓迎。
受付は探鳥会当日です。予約申込みは必要

ありません。

筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば
双眼鏡（なくても大丈夫）などをご用意く
ださい。小雨決行です。

参加費は、一般＝100円、会員と中学生以
下＝50円

6月8日(日) 熊谷市 大麻生(定例)

— 梅雨空にコアジサシ舞う大麻生 —

午前9時30分秩父鉄道大麻生駅前集合(秩
父鉄道熊谷9:09発→大麻生9:18着/秩
父鉄道寄居9:12発→大麻生9:32着)。
オオヨシキリやセッカ。河原ではコアジサ
シが子育てにいそがしい時です。(担当=
鈴木忠雄、堀越照雄、今井明巨)

6月15日(日) 浦和市 三室地区(浦和市
市立郷土博物館共催・定例)参加費無料。

— カッコウ鳴く見沼田んぼ —

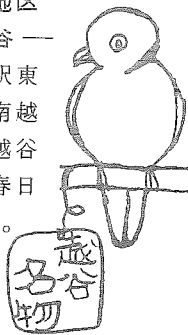
午前8時15分北浦和駅東口又は、午前9時
郷土博物館前に集合。午後1時ごろ解散。
森からはカッコウの音が、芝川にはカルガ
モの親子が……。 (担当=楠見邦博、森本
國夫、福井恒人)

6月22日(日) 越谷市 増林地区

— シラコバトのふるさと越谷 —

午前9時30分東武鉄道北越谷駅東
口集合。(南浦和8:55発→南越
谷9:07着→東武鉄道乗換新越谷
9:21発→北越谷9:26着/春日
部8:59発→北越谷9:17着)。
午後1時ごろ解散。県の鳥シ
ラコバトのほか、オオヨシキ
リやセッカが見られます。

(担当=石川敏男、山部直喜)

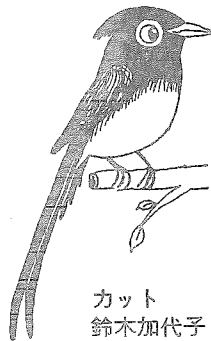


カット
村上由香

7月6日(日) 北本市 農事試験場跡地

— 会ってみたいナサンコウチョウ —

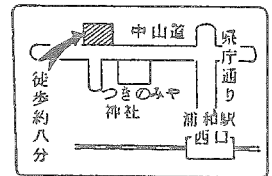
午前9時石戸農協前集合
(大宮8:16発→北本8:
39着/熊谷8:23発→8:
42着)。尚、電車で参加の
方はバスの便がありません
のでタクシーをご利用下さ
い。サンコウチョウは今年
も来ているかな。サンバや
キジにも会えるかも。(担
当=森本國夫、榎本秀和、
田中智恵子)



カット
鈴木加代子

6月14日(土) 野鳥写真教室

午後3時～6時、浦和市立コミュニティー
センター2階、和室の第2講座室。全国の
鳥仲間の撮影したスライド100枚を一挙に
見せます。後半は会員のすてきな作品発表。
いずれここから表紙の写真も。ただ見て楽
しみたい方、終
った後の何かを
期待する人、み
んな歓迎。参加
費は探鳥会と同
じ。(担当=海
老原美夫)



台湾的鳥類アラカルト(III)

榎本秀和(鴻巣市)

8. 仙風道骨の高人隠士(世俗を超えた世捨て
人) = ツル科
9. 水郷沢国^の之隠者(水辺の里のかくれ人) =
クイナ科
10. 抛家棄子的浪蕩婦(子育ては夫まかせ、鳥
版『クレイマー』) = タマシギ科
11. 沙洲上の尋宝者(干潟で宝さがし) = ミヤ

- コドリ科、チドリ科
12. 泥濘中の小陶氣(ぬかるみのいたざらっ子)
= シギ科
13. 水中^底陀螺(くるくる回る水面のコマ) = ヒ
レアシギ科
14. 草原中活動的小石頭(川原を飛びかう石つ
ぶて) = ツバメチドリ科 (続く)

探鳥会報告

4月6日(日) 浦和市 秋ヶ瀬

人 56人 天気 晴 鳥 ゴイサギ ダイサギ コサギ マガモ カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガガモ ハンビロガモ コジュケイ バン コチドリ ムナグロ タカブシギ タンギ ユリカモメ キジバト ヒバリ ツバメ タヒバリ ヒヨドリ モズ ヒレンジャク ツグミ ウグイス セッカ シジュウカラ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ イカルシメ スズメ ムクドリ オナガ ハンボソガラス ハシブトガラス(39種)田圃では、冬羽から夏羽までそろった第一陣のムナグロが、林では、10数羽のヒレンジャクが、予定どおり登場し、リーダーもにんまり。

4月13日(日) 熊谷市 大麻生

人 13人 天気 晴 鳥 ダイサギ コサギ マガモ カルガモ コガモ トビ キジ イカルチドリ イソシギ コアジサン キジバト カワセミ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス ハンボソガラス ハシブトガラス(31種)森ではウグイスがホーホケキョ、河原では3羽のコアジサンの優雅な飛翔とダイビング。魚をくわえたカワセミもちゃんと。

4月20日(日) 浦和市 三室地区

人 31人 天気 小雨 鳥 コサギ カルガモ コガモ コジュケイ キジ コチドリ クサシギ タカブシギ イソシギ タンギ ジンギSP ユリカモメ キジバト カッコウ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス シジュウカラ ホオジロ アオジ オオジュリン カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハンボソガラス ハシブトガラス(34種)冬羽から頭の黒い夏羽までそろったユリカモメがじっくり見られた。冬の間やぶの中においてネクラ風だったアオジも、ネアカに変身。梢で囀り

の練習を始めていた。

4月29日(火、祝) 本庄市 阪東大橋南詰

人 26人 天気 晴 鳥 カイツブリ ダイサギ チュウサギ コサギ アオサギ カルガモ トビ ウズラ キジ コチドリ イカルチドリ ハマンギ クサシギ イソシギ コアジサン キジバト ヒメアマツバメ アマツバメ カワセミ ヒバリ ツバメ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス オオヨシキリ セッカ ホオジロ スズメ ムクドリ オナガ ハンボソガラス ハシブトガラス(34種)ヒメアマツバメが探鳥会に初登場。

5月3日(土、祝) 北川辺町 渡良瀬遊水池

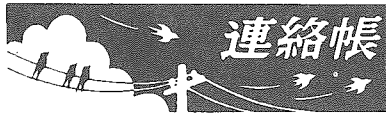
人 18人 天気 曇 鳥 ダイサギ チュウサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ オナガガモ トビ サンバ チョウゲンボウ クイナ バン コチドリ シロチドリ ハマンギ ツルシギ アオアシシギ タカブシギ イソシギ タンギ コアジサン キジバト ヒバリ ツバメ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ オオヨシキリ セッカ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハンボソガラス(36種)サンバが近くの枯れ木に止まってくれて、皆大満足。夏羽のツルシギもたっぷり。

4月12日(土) 野鳥写真教室

人 25人 中村重勝講師のユニークな写真論に続いて多数の会員が作品を発表。解散後希望者が集って夜桜の下でカルクイッパイでした。



青沼俊雄会員の作品・シラコバト



第2回総会のお知らせ

第2回総会を次の通り開催します。

場所・埼玉県熊谷福祉センター

日時・昭和61年6月8日(日)午後1時

受付開始

午後1時30分～2時

30分 記念講演「世

界の鳥と日本の鳥と

この辺の鳥」塚本洋三本部常務理事

午後2時30分～4時30分 総会

午後5時～7時 懇親会

議題・昭和60年度事業報告および決算について、昭和61年度事業計画および予算について、役員を選出について。

懇親会参加費は3,000円ご用意ください。

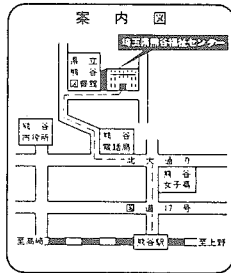
きっとおもしろい塚本さんの記念講演、活発に意見をかわす総会、もちろん楽しい懇親会、おいでください。

埼玉県野鳥生態写真コンクール

今年も埼玉県自然保護課鳥獣保護係りが担当して、コンクールの作品を6月30日締め切りで募集中です。くわしくは同係り(電話0488-24-2111内2424)までお問い合わせください。

バードアクセサリーすこしお休み

ご好評をいただいています場合谷内ルミ子会員のオリジナルバードアクセサリー。希望者が多すぎてくたびれた製作者は、ちょっと休ませてと、ついにSOS。気力体力が回復するまで、しばらくお待ちください。



駅から車で約5分、歩いて約20分

会員数は

5月20日で711人ですが、現在会費の長期滞納者の整理を進めています。ですから次回にお知らせする会員数は一時的に減少するかも知れません。

役員会の報告

4月13日(熊谷市) ①各部の報告、②7月と8月の行事、③会費長期滞納者の整理、④総会の準備(事業報告、事業計画、次期役員など)、⑤リーダーの発掘、⑥次回は5月11日熊谷市で、⑦その他。

事務局日誌

- 4月5日 三芳町役場から、5月号広報バードウォッチング編集について。
- 4月11日 NTT野鳥の声テレフォンスービスのリーフレット5,000部持参。
- 4月18日 本部にて、会員制度移行手順などについて打合せ。19日会員カードの写し作成、照合作業のため本部へ送付。
- 4月26日 『しらこぼと』5月号袋詰め作業。(ボランティア8名) 28日発送。



先日、北本市の農事試験場跡地へ行ってきました。めあては、サンコウチョウ。待つこと暫し。林の奥からあの声が…。思わずニヤリ。そして「今年も来てくれたか」と感謝。姿は見えなかったけれど、声だけでも十分満足でした。おまけに、ツツドリが二羽、頭上をかすめたり、渡りの途中と思われるキビタキ雄までがじっくり観察できたりと、充実した一日でした。(山部直喜)

題字「しらこぼと」：日本野鳥の会会長・山下静一

(イラスト風見出し・鷹尾正済)

『しらこぼと』

1986年6月号(第25号)

発行人 今井昌彦

頒価100円(会費に含まれます)

発行所 日本野鳥の会埼玉県支部

発行所事務局

〒336 埼玉県浦和市岸町4丁目26番8号

プリムローズ岸町107号

電話 0488(32)4062

郵便振替 東京9-121130

銀行振込口座 埼玉銀行浦和支店普通預金316990

印刷所

望月印刷株式会社

(無断転載を禁じます)